

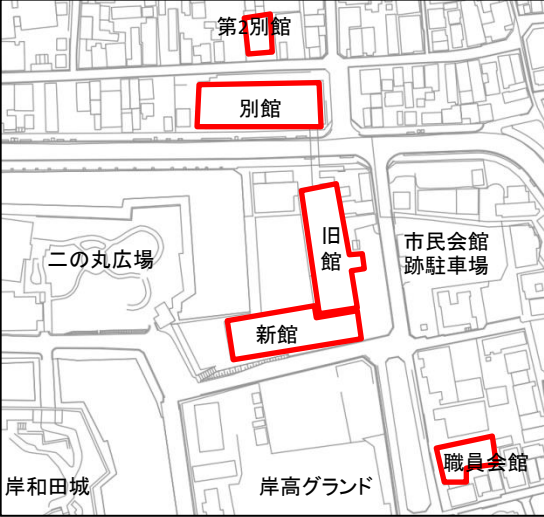
■現庁舎の状況と建替えの必要性

岸和田市の市役所庁舎は、最も古い旧館が昭和29年の建設で、築60年以上経過し、老朽化の進行と、増築による複雑な庁舎構造や業務の多様化に伴う配置替えなどによる狭隘化が重なり、市民の皆様にも不便を強いる状況です。

また耐震性能についても問題を有していることから、災害対策拠点でもある庁舎の建て替えについて検討を進めています。

●現庁舎概要

建物名	旧館	新館	別館
建築年(築)	S29年(64年)	S46年(47年)	S57年(36年)
構造	鉄筋コンクリート造		
階数	5階B1階	4階B1階	4階B1階
耐震性	×	×	○
延床面積	4,937㎡	4,199㎡	4,197㎡



※第2別館は賃貸物件

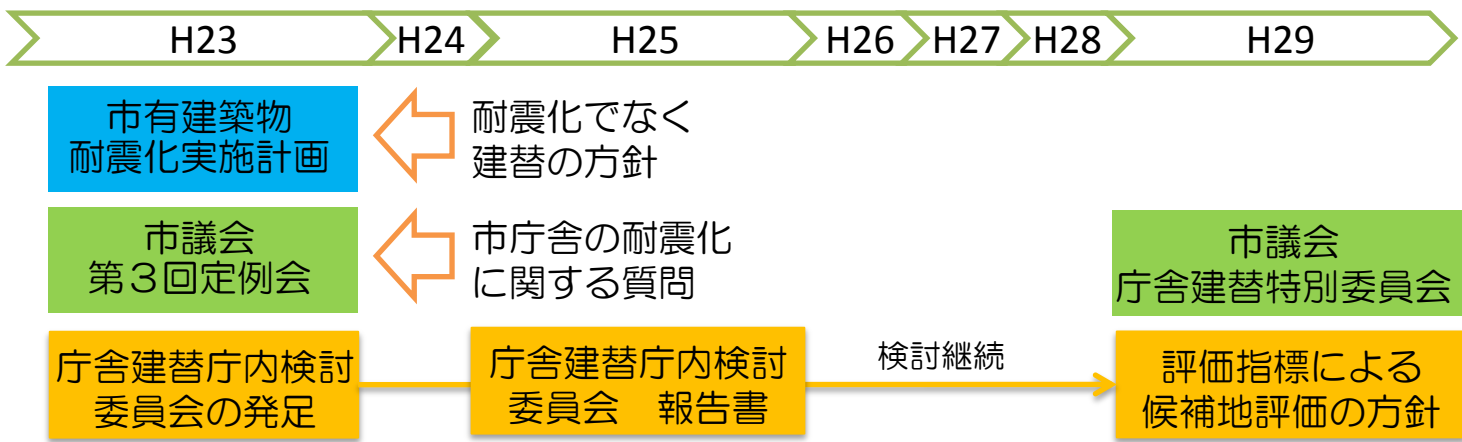
●現庁舎の課題

- ①施設の老朽化⇒構造体の劣化による危険性・雨漏等や、維持管理経費の増大
- ②耐震性能の不足⇒耐震性能不足による地震発災時の安全面の懸念
- ③施設の分散・狭隘化⇒狭い窓口・執務空間、バリアフリー化が困難、迷路のような庁舎内の動線

●新庁舎の必要性

- ①耐震改修での対応が困難⇒耐震化しても老朽化は止まらない(耐震化+近い将来建替コスト)補強により更なる狭隘化・動線の複雑化
- ②課題の早急な解決・対応 ⇒防災拠点でもあり、市民サービス向上のためにも、早急な対応が求められる

■庁舎建替検討の経過



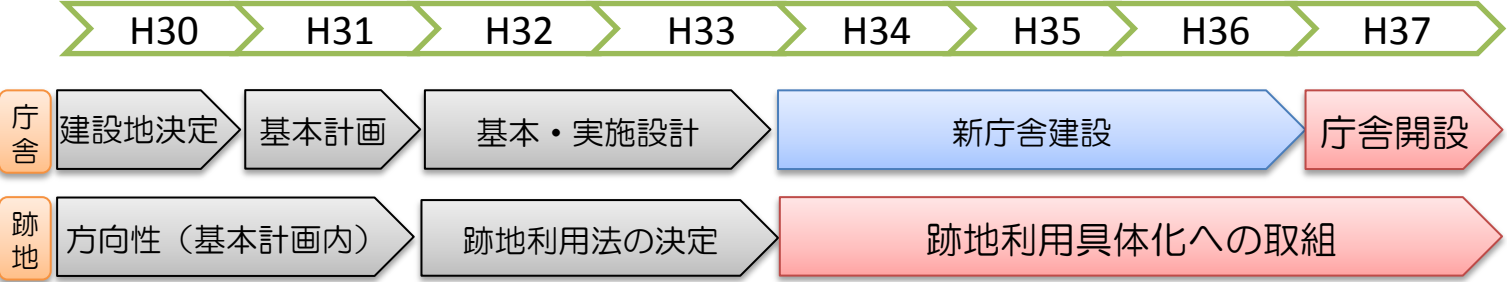
■建設候補地について

庁舎建設候補地は、市有地である「福祉総合センター等敷地」と「現在位置」の2候補地に絞り、建設地を選定します。建設地の選定には、評価指標を設けて、候補地の状況を客観的に点数評価し、総合的に建設地を判断します。

候補地	指標に基づく調査	評価指標	配点	点数化客観評価
①福祉総合C敷地	➡	防災性(安全性)	25	➡ 建設地を決定 (政策決定会議→市議会の議決)
②現在位置		利便性	20	
		まちづくり	20	
		環境への影響	10	
		経済性(実現性)	25	



■庁舎建設スケジュール(案)



※最短で実施した場合のスケジュールであり、工法(仮設の有無等)によっては期間が延長される可能性があります。